

- 1 開催日時 令和8年2月12日(木) 午後1時30分から午後3時30分
- 2 会場 会議室
- 3 出席者 学校運営協議会委員 井原 裕司、片山 雅博、木宮 敬信、菅沼 泰久
鈴木 規之、田代 瑠璃
学校職員 校長、副校長、教頭(全・定)、事務長、総務課長、教務課長
生徒課長、進路課長

4 会議の概要

(1) 校長挨拶

(2) 新居高等学校自己評価報告・協議

【全日制】

ア 生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備

- ・命の大切さ、思いやりの心、生徒・保護者共に高い達成度が素晴らしい。
- ・SNS被害にあわないように生徒とのコミュニケーションをとっていただきたい。
- ・いじめについて、早期発見・早期対応が大切である。
- ・記名式でいじめアンケートを実施しているが無記名で試すことも良いのではないか。
- ・表に出てこない小さな声を拾い、誰一人取り残さない対応になっているか検討してもらいたい。
- ・いじめアンケートについては、全体的数値よりも良い評価をしていない少数の生徒を重要視していかなければならない。本来100%を目指すべき項目といえる。
- ・施設設備については、常に点検することが必要。
- ・県のサポートや補助が必要な施設が発生したら情報共有をお願いしたい。
- ・危険個所だけでなく、ヒヤリハットを収集していくと良いと思う。
- ・防災について、特に注目される地域。まず津波から逃げることを校内へ周知する。
- ・外国籍の方の地域防災の参加が少ない。子供に防災意識があれば、参加しない家庭の参加も増えるのではないかと期待する。
- ・地域防災訓練は年々参加者が減少している。その中の20%は評価できるのではないか。
- ・地域防災訓練の参加率を改善する努力をしてほしい。
- ・津波対策訓練、防災訓練など、学校外(登下校など)での考えさせる場面があると良い。
- ・過去に交通での死亡事故があった。注意喚起が必要。
- ・自転車の運転等、法律も厳格化される。指導の徹底をお願いする。
- ・交通ルールが厳しくなり違反者が増える可能性があるのでは。指導をお願いしたい。
- ・青色切符に対する周知を行ってほしい。

イ 基本的生活習慣の確立と自立した生徒の育成

- ・挨拶、礼儀は終生自分の身を守る。身につくように指導を願う。
- ・新居高校の生徒は他校に比べて挨拶がしっかりできる印象である。引き続きご指導をお願いする。
- ・保護者の理解を得ることや家庭内での躰等、家庭を連携した指導が必要である。
- ・指導にも思いやりが大切と考える。長い人生で先生のありがたさを感じる指導を期待する。
- ・できれば地域住民との交流を通じて学ぶなど、社会に出ることを意識してルールや道徳心の向上に注力していただきたい。

- ・保護者のかかわりが必要。犯罪に加担しないように願う。
- ・生徒と保護者で指導の内容や意味合いの整合性を取る必要があると考える。
- ・進路指導等の共有については、やや課題があると感じる。
- ・通級指導について現場に即した対応について、教員間で情報共有や学び合う機会があると良い。
- ・規則正しい生活習慣は健康への第一歩であることの理解も示すと良い。
- ・食育にも力を入れてほしい。
- ・ルールやマナーの理解と自分の行動変容について考える機会があると良い。
- ・公共マナーは全国共通で自分勝手なことは適用できない周知が必要。校外に出て身に着けることも有効であると考え。
- ・自らの意志で積善に取り組むことを期待。
- ・ボランティア精神は生涯にわたり必要。

ウ 確かな学力の育成

- ・テストの得点の競争ではなく、学習理解のたね丁寧な指導を大切にして欲しい。
- ・事前学習は習得度に直結するため、予習の宿題を出すなど検討してほしい。
- ・成績の悪い生徒に対しては、個別に指導することが重要であろう。
- ・教える内容のレベルが下がらないような授業運営に努めてほしい。
- ・図書館は知の宝庫なので大切にしてほしい。
- ・部活動が任意加入となり、放課後の使い方で図書館の利用も検討してはどうか。
- ・どこの学校も図書館利用は課題のようです。
- ・高校生のうちに実際に本を手にとって活字を読む習慣をつけてほしい。

エ コース制及び進路指導の充実

- ・他校との差別化につながるため「コース制」を強みにしてほしい。
- ・地元企業への就職の促進。
- ・進路希望者を増やす進路指導や取り組みも必要と考える。
- ・探究活動が「自分が必要とされる場所」となれると良いと考える。
- ・湖西就職フェアでの様子を見ていても個人で悩んでいる生徒が見受けられた。教員と立場の違い外部の活用を考えるべきと感じる。
- ・生徒及び地元企業ともにインターンシップ等から地元企業への就職につなげることを促進することが有効と考える。
- ・アルバイトで就職への意識を高める働きかけをしてほしい。
- ・市内には日本を代表する企業が多くノウハウを得る学習ができると考える。できることは協力したい。
- ・出前授業で生徒たちは「将来何をしたいのか」等の発見も期待される。
- ・就職と直接関係しないような交流、地域への愛着を持ってもらえるような交流を積極的にしてもらいたい。
- ・資格取得も大きな目標となり、学習意欲や能力向上につながる。
- ・工業コース以外の生徒や外国人生徒の資格取得へのサポートにも力を入れていただきたい。

オ 特別活動及び部活動の充実

- ・主催者意識や感覚を養えると良いと考える。
- ・部活動をやっていない生徒を、生徒会活動に積極的に参画できる仕組みがあるといいと思う。
- ・教員主導になるのは理解できるが、前年度活動のマニュアル化等を通じて自ら行動していけるようにする取り組みを期待したい。
- ・クラスや学年等、皆で達成する活動は大切だと感じる。
- ・部活動は周りの人との協力や協調性の大切さを覚える機会であると考えている。
- ・高校生は体づくりをする上でも重要な時期である。運動部ではない生徒に対する体育での指導を期待する。
- ・部活動に入らない生徒の別のやりがいや時間の使い方等については注意深く見ていく必要がある。

カ 保護者や地域等と連携し、開かれた学校づくりの推進

- ・C-learning で他の言語に変換可能。外国籍の保護者など非常に助かっている。
- ・丁寧な対応に感謝する。
- ・学校が信頼されていることの表れと思う。
- ・生徒から学校への相談に加え、先生方の気付きから生徒・保護者への連絡・報告する体制と関係作りにも期待する。
- ・相談内容の共有、チームとしての対応が重要と考える。
- ・SNS の活用は有効だと思う。
- ・ホームページは、英語・日本語以外の言語対応の必要性を検討してみてもどうか。
- ・他校のホームページや SNS を見て参考にしていきたいことが求められる。

キ 持続可能な教職員の働き方改善

- ・教職員も学ぶ姿勢が必要。今後も研修の充実を図ってもらいたい。
- ・社会の情勢に合わせた改善を期待する。
- ・日々の業務や授業対応における生成 AI の活用も進めてほしい。また、生徒の協力を得ることや生徒の主体性に任せることで、先生方の負担を減らす取り組みも進めてほしい。

【定時制】

ア 生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備

- ・指導がよく行き届いていると感じる。
- ・日本語ができない生徒への青色切符に対する周知を行ってほしい。
- ・外国人生徒には得に丁寧をお願いしたい。
- ・災害に対する理解が十分でない生徒がいるのではないかと感じる。

イ 基本的生活習慣の確立と自立した生徒の育成

- ・社会のルールや道徳心の向上に努めていただきたい。
- ・学校に満足していない生徒へのフォローに注力していただきたい。
- ・全体に良い学校環境を作っていると思う。

ウ 確かな学力の育成

- ・生成 AI の使い方の指導もできるといいと思う。

エ 進路指導の充実

- ・昨年度より向上しているが、もう少し高い数値で達成されると望ましい。
- ・地元企業への就職が進むことを望む。
- ・社会環境を学ぶことが大切。
- ・非常に重要な項目だと考える。個別のフォローをしていく必要がある。

オ 特別活動の充実

- ・特別活動は連帯感と責任感が高まる。

カ 保護者や地域等と連携し、開かれた学校づくりの推進

- ・不登校だった生徒が学校に来れていることは保護者にとって本当に安心する要素だと思う。
- ・外国人生徒の保護者への対応は十分できているか検討を。
- ・地元の歴史・文化・先人の営みから学ぶことは重要。地元企業からの派遣等積極的に。

キ 持続可能な教職員の働き方改善

- ・デジタル化の促進。短時間に作業をすることを望む。
- ・地域文化への理解・協力・学びを望む。